

## 第 37 次ユージン訪問団報告書

### 1 訪問日程 5月27日(水)～6月2日(火) 5泊7日

5月27日(水)	掛川駅～成田空港～ユージン市	【ホテル】
28日(木)	宣言書調印式及び記念品贈呈 教育委員会・商工会との意見交換会 友人学園、シャスタ中学校訪問	【ホームステイ】
29日(金)	ホストファミリーと過ごす	【ホームステイ】
30日(土)	ユージン～サンフランシスコ	【ホテル】
31日(日)	シリコンバレー、スタンフォード大学視察	【ホテル】
6月1日(月)～2日(火)	サンフランシスコ～成田空港～掛川駅	

### 2 訪問者 9人

団 長：掛川市長 松井三郎

副団長：掛川国際交流センター副理事長 大角順一

団 員：鈴木克壽、鈴木芳江、戸塚成子、疋田千加子、松井房子、溝口博之、山田京子

### 3 訪問内容

#### (1) 宣言書調印式及び記念品贈呈

日 時：平成 27 年 5 月 28 日(木) 9:30～10:30

会 場：ハリスホール

出席者：Kitty Piercy 市長，議員 Betty Taylor, George Brown, Claire Syrett 市職員

内 容：趣旨説明(ユージン市長)、共同宣言書署名、掛川市長挨拶、記念品交換  
記念撮影



趣旨説明(キティ・パーシー市長)



松井市長メッセージ



共同宣言書署名



ユージン市からオレゴン産木製置物



掛川産ヒノキのプレートと市章の額縁贈呈





日本のお城の本贈呈

掛川訪問団、ユージン市議会議員、  
ユージン市職員、姉妹都市委員会

地元ラジオ局の取材



記念撮影

## (2) 教育委員会との意見交換会

日 時：平成 27 年 5 月 28 日(木) 11:00～12:00

会 場：ユージン市庁舎内会議室

応対者：Jim Torrey, Chairman of the Board

Dr. Sheldon Berman, 4J District Superintendent

Randy Bernstein, 4J District Director of Secondary Education

Colt Gill, Bethel District Superintendent

Chris Parra, Bethel District Deputy Superintendent

内 容：今後の学生の交流について、長期滞在、交換留学制度がとれるかなど、海外体験の機会充実に向けた意見交換を行った。以下、ユージンからの意見等(抜粋)  
例年の時期だとユージンは夏休みなので、学区では教育の場が少ない。  
オレゴン大学やユージン市に英語教育プログラムについて話をしたらよい。  
掛川市同様、国際人の育成に関しては興味を持っている。  
提案として①興味を持っている日本の学生を 10～20 人のグループで派遣してはどうか。②掛川とユージンの学校間でスカイプなど、まずはコミュニケーションから始めて、お互いに行ってみたいと思い、訪問する。  
夏は難しいので、学校を休んで 2～3 週間来てもらうことになる。日本語教育をやっている先生に受入、ホームステイを頼む。そこでは日本語と英語の両方が学べる。ロータリー、J C、ライオンズなど、ホストファミリーは見つけられる。



教育委員会との意見交換

世界農業遺産の説明

### (3) 商工会議所との意見交換会

日 時：平成 27 年 5 月 28 日(木) 12:30～13:30

会 場：ユージン商工会議所

応対者：Dave Hauser, President of Eugene Chamber of Commerce

Kim Thompson, Oregon State Employment Department

Garrett , Third Ocean

内 容：商工会議所のプレゼンテーションの後、産業交流の可能性について、意見交換を行った。以下、ユージンからの意見等（抜粋）

どういう形でやりたいのか知りたい。茶葉のパッケージ作成、ティーパック、加工品など、できるものがある。

(掛川)どんな形でも、まずは飲んでもらいたい。掛川製品として出したい。

アメリカでは、健康に敏感になっている。健康食品としてやった方がよい。

日本へは、ワインをオレゴンから売れる。

グリーンティー、フレーバーなどの製品をユージンで売る。スターバックスなどのカフェで出すのもいい。

今後、連絡をもらえば、いつでも相談にのる。



出席者の方に呈茶

商工会議所のプレゼンテーション

意見交換

### (4) 学校訪問

日 時：平成 27 年 5 月 28 日(木) 10:00～17:00

場 所：①シャスタ中学校（掛川市立北中学校姉妹校）②友人学園

応対者：①Brady Cottie, Principal、Evan Rindy, Assistant Principal、Margie Harris,

②Nancy Imamura 先生

内 容：①校内及び授業風景の見学と意見交換

②授業が終了していたため校内の見学のみ

#### ①シャスタ中学校



授業風景

日本の日課との違い、授業間の休みが短い。所属学級や自分の机はなく、子供たちが教室を移動する。自由さはあるが、一人一人の自覚と責任は大きい。



訪問団のために、  
楽器演奏や合唱を  
披露してくれた



鈴木先生が北中学校生徒からのメッセージを紹介



姉妹校記念樹

送迎バス



## ②友人学園（昭和 63 年設立）

ユージン市立小学校で西海岸で初の日本語イマージョンスクール（半日日本語、半日英語で授業を受ける）平成 5 年より、修学旅行を兼ねた日本旅行の中で、姉妹都市である掛川市を訪れるようになった。



ナンシー今村先生による説明



教室内



図書室

## (5) 歓迎会

- ① ウェルカムパーティ 5月27日(水)18:00～ ワイナリー (姉妹都市委員会主催)
- ② フレンドシップディナー 5月29日(金)18:30～ ユージンゴルフクラブ  
ユージン市長夫妻、Betty Taylor 議員、ホストファミリー  
姉妹都市委員会



団員の疋田さんと戸塚さんによる茶道の披露・呈茶



疋田さんの日本舞踊(黒田節) 姉妹都市委員会によるちゃつきり節



ホストファミリーのみなさんと



両市長のスピーチ  
「様々な違いを理解し、  
お互い一人の人間として  
よい関係を築き、それが  
世界の平和に繋がっていく  
くでしょう」



## (6) シリコンバレー・スタンフォード大学視察

日 時：平成 27 年 5 月 30 日(土) 10:00～15:00

### ① シリコンバレー

名称の起源:インテルなどをはじめとした多数の半導体メーカーが集まっていたこと(半導体の主原料はシリコン(Silicon)と溪谷(Valley)という地形に由来する。

スタンフォード大学の周りにあり、大学のバックアップ等もあって、ソフトウェアやインターネット関連の世界的な企業が同地区には多数生まれ、IT企業の一大会点となった。

Apple(アップル)



Google(グーグル)本社



自由な雰囲気、既成概念にとらわれない発想を大切にしている。

Facebook (フェイスブック)



HP (ヒューレット・パッカー) ガレージ



### ② スタンフォード大学

1891年創立 サンフランシスコから南東約60km 耕地面積32.8km<sup>2</sup> 校舎700棟  
教授2040人(学生5人に1人)、学生6800人、院生8800人、ノーベル賞受賞者20人  
世界大学ランキング4位(東京大学23位)



広大な敷地と伝統的な建築物



大学内にある教会



教会内のステンドグラス



## 4 今後の交流について

### (1) 市民訪問団

近年、訪問の内容がマンネリ化しているため、参加者が少ない状況である。

行きたくなるような内容にするため、テーマを設定した訪問団にしたい。

例えば、

- ① 文化交流・・・文化作品の交換展示、文化協会会員の相互交流、お祭り交流
- ② スポーツ交流・・・マラソン大会への参加、サッカー交流、スポーツ親善試合
- ③ 市民活動団体の交流・・・環境、防災、福祉 など

### (2) 高校生ユージン研修

ユージン市教育委員会との意見交換の中で提案されたことについて、検討していくとともに、研修内容を再構築する。

ホームステイの期間を長くする（ユージン市では対応が難しいとのこと）。

事前の語学研修を充実させる。

### (3) 産業交流

関係機関、関係各課とともに、掛川茶のPR方法、販売の可能性を探っていく。

## 5 所感等

今回の訪問の目的である「共同宣言書への調印、記念品の贈呈、英語教育交流導入の検討、経済・産業交流などの交流事業の検討（掛川茶のPR）」について、多くの方の協力のもと、自分の役割を果たすことができたのではないかと思います。

今回の訪問では、ユージン市における温かいおもてなしを受け、あらためて、ユージン市との交流の歴史の深さ、積み上げてきた信頼と厚誼に強く感銘しました。

特にユージン姉妹都市委員会の高橋さんには、調印式の段取り、教育委員会や商工会との意見交換、学校訪問の調整など、細やかな配慮をしていただき、そのおかげで目的を果たすことができたと思います。

個人としては、英語力の必要性を痛感し、実際に外国文化を肌で感じることができたので、今回の訪問は、今後の国際交流事業を進めるうえで大変役に立つと思います。

これからも、新たに決意した「共同宣言書」をもとに、両市の友好と発展に向け、お互いに協力し合い、交流を深めていきたいと思います。